

西宮 えびす



美人口中に放りて
含みみて之を造る

大昔、酒は巫女が米を嚼んで瓶に貯え発酵させて造ったといわれています。祭りに酒は欠かせません。人が神に近づき、一体となる神聖な飲み物・酒。それはかつては女性が造っていたといわれています。

平成10年
新春号

西宮神社 / 〒662 兵庫県西宮市社家町1-17
TEL/0798-33-0321 FAX/0798-33-5355

えびす

平成10年
新春号

▼四季の境内 (カルガモの親子)



◎編集室から

今では、現役の陸上部の選手でも連覇するのが難しい開門神事に、大正10年から17年回も一番乗りをしていた田中太一さんとは、どんな人物であったのか、興味がわきます。一番福2連覇の善斉さんの健闘と扇町の新社屋に移転した関西テレビ名物アナウンサー桑原さんの益々のご活躍を期待致します。

灘の生一本とは、今津郷・西宮郷(以上西宮市)、魚崎郷・御影郷・西郷(以上神戸市)の灘五郷で造られた混じり気のない日本酒のことを指しますが、西宮市にある酒造会社の共同銘柄「えべっさんの酒」に続いて、神戸市の方では朝の連続ドラマにあやかって「甘辛ちゃん」という共同銘柄を発売されました。今後、行政区域を越えて一つになっていくことが、灘全体、ひいては日本酒の振興につながっていくのではないかと思います。

平成戊寅、新しい年の平安と猛虎の活躍を祈るのみです。(英)

西宮えびす平成10年新春号 (通巻第8号)
平成9年12月1日発行
編集/講務課広報
デザイン/OHITAフーズ
写真提供/毎日新聞阪神支局
小川 元造
協力/いぬづか写真室
エビスシマダ
神戸市東部水産物卸売同組合



お知らせ

12月

◆迎春準備

初詣の参拝者に授与する寅の干支鈴や絵馬、福矢などの準備がすすまられています。巫女が授与品をひとつずつ点検して、箱や袋に詰めています。



◆えびす面作り

十日えびすの縁起物であるえびす面作りが宝塚市郊外の作業所で行われています。面にかたどった粘土を窯で約十時間かけて焼いたあと筆を入れ、和やかな表情が描かれていきます。



◆巫女研修

(12月21日)
初詣・十日えびすに笑顔で参拝者をお迎える臨時奉仕の巫女の研修会が行われます。白衣に袴姿で授与品の説明や応対の仕方の説明を受け、心の準備を整えていきます。



◆煤払祭

(12月27日)
一年の安泰に感謝をする祝詞をあげたあと、白装束にマスク姿の神職が竹ざおの先端に笹の葉をつけた巨大なほうきで本殿の煤をお払します。



◆百太夫神社祭

(1月5日)
えびす信仰を全国に広めた傀儡師の祖神をお慰めるお祭り。この人形操りが淡路人形浄瑠璃や大阪文楽の源流となっています。



◆だまぐる奉納

(1月8日)
十日えびすを前に神戸市東部水産物卸売同組合などから約三百キロの特だまぐるが奉納されます。卸売市場の震災復興が完了するまで毎年ひとまわりずつ大きくなるそうです。



甘辛しゃん

あまから

好評放送中のNHK朝の連続テレビ小説「甘辛しゃん」

ヒロイン榊泉役の佐藤夕美子さんが、ドラマの成功を

福の神えびす様に祈願されました。



◆成功祈願で初めて口に、お酒は甘かった。

灘の清酒会社を舞台に杜氏の里、丹波・篠山の農家で生まれ育った女性が、伝統ある酒造りの世界に飛び込み、苦勞を重ねながら成長していく物語。

佐藤さんは、東京都出身の大学二年生で初の主役に抜擢されました。

ドラマ収録のため大阪で二人暮らしをされているようですが、

「住み慣れた東京を離れて自炊生活をしています。神戸弁は、最後のイントネーションが難しいですね。ときどき東京弁と交じってしまいます。えべっさんへは初めてお参りをしましたが、都会のオアシスという感じの木々に囲まれた本殿で、ご祈禱をして頂き、とても心が静まりました」

「ご祈禱の後、口にされた御神酒が初めてのお酒ということですが、

「未成年なので舌の上で転がして味を楽しみましたが、思ったより甘い旨みで口当たりが柔らかいというか…。以前はお酒の香りもダメと思いついでいたのですが、ガラリと印象が変わりました。西宮の銘水「宮水」で仕込んだ灘のお酒は、秋晴れがすると聞きましたが、実際の酒蔵を見学して、米や水、温度管理にいたるまで細心の注意を払った結果でできる最高の灘酒の仕上がりをあらかわす、「しゃん」の意気込みを実感してきました。ドラマを通じて震災復興の応援ができればと思っています」

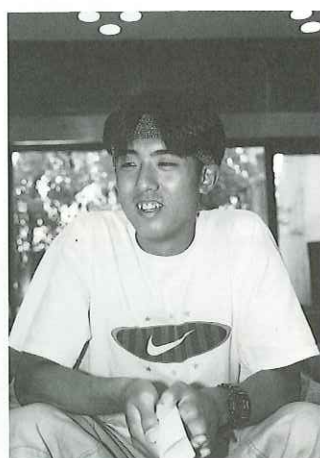


吉井宮司から番組成功祈願のお礼を受け取る佐藤さん

●佐藤 夕美子さん(さとう ゆみこ)

昭和53年7月10日生まれ、東京都出身。
亜細亜大学1年在学中。
昭和62年ミュージカル「アニー」の子役でデビュー。
「甘辛しゃん」のオーディションで、1863人の中から主役に抜擢。
趣味は絵画、茶道、スノーボード。

福男



平成九年十日えびすの二番福は、前年に引き続き、善斉健二さんの二連覇となりました。本えびす初参りをされた、福男の「福」をご紹介します。

◆希望が叶い、就職内定を勝ち取る。

「一番福になられた瞬間、どのようなことをお祈りされましたか。」

「就職活動がうまくいくように願いました。公務員志望の夢が叶い、おかげで西宮市消防局の消防吏員に採用が内定しました。今回の大学卒業予定者の採用は一名だったので、かなりの難関でした。本当に運がよかったです。体力には自信があったのですが、面接で福男選びに参加するようになった機会などを尋ねられ、参加し続けることで新しい知り合いが増え、交流が生まれてくる楽しさなどを話しました」

「二番福、三番福となられた方もお知り合いということですが、

「今回初出場で、二番福になった平尾亮君は、大学の友人の後輩にあたります。陸上の大会などでよく一緒にいますが、かなりの記録保持者で今後の活躍が期待できます。彼も希望が叶い、神戸国際大学から仏教大学に編入学し、好きな国文学の道に進んでいます。三番福の森本晋由君とは、中学時代からのライバル同志だったので、今回住友電工の特別プロジェクトチームに選抜され、二年間横浜の研究所に派遣されました。僕も四月から兵庫県消防学校で半年間の訓練を受け、秋からは一人前の消防士として頑張っていきたいと思っています」



平成九年十日えびす福男に選ばれ、賞品を受け取る3人
(左から二番福・平尾亮さん、一番福・善斉健二さん、三番福・森本晋由さん)



●善斉 健二さん(ぜんさい けんじ)

昭和50年9月26日生まれ、西宮市出身。
大阪体育大学4年在学中。
陸上部所属、短距離ベストタイム400m48秒62。
開門神事平成6、7年連続二番福、平成8、9年連続一番福。
趣味はスキー、テニス、サーフィン。



えびす宮全国総本社



十日えびす

一月九日(金)
宵えびす
午後二時
◆有馬温泉献湯式



●有馬温泉献湯式

一月十日(土)
本えびす
午前六時
◆開門神事福男選び



●開門神事福男選び

一月十一日(日)
残り福



●十日えびすタバコ



●えびすテレホンカード



◆交通のご案内

初詣・十日えびす期間中は、境内駐車場が使用できません。
ご参拝には、電車・バスをご利用下さい。



- 阪神西宮駅下車すぐ
- 阪急夙川駅下車徒歩15分
- JR西ノ宮駅・阪急西宮北口駅から臨時直通バス(1月9・10・11日のみ)



●招福まぐろ



●白姫



●お守り・お札授与



●えべっさんのお酒



●えべっさんのお米



●向って右より第一殿・えびす大神、第二殿・天照大神 大国主大神、第三殿・須佐之男神をおまつりする本殿。十日えびすの3日間で100万人をこえる人々がお参りをします。



●福笹授与



●吉兆店



●おばけ屋敷・見せ物小屋



十日えびすにちなんだ招福の品々。
協賛の団体・企業から発売予定

- ① 阪神米穀「えべっさんのお米」
 - ② 西宮市内の日本酒醸造17社による共同銘柄「えべっさんの酒」
 - ③ サッポロビール「エビスビール」
 - ④ NTT西日本テレカ「えびすテレホンカード」
 - ⑤ JT日本たばこ産業「十日えびすタバコ」
 - ⑥ 阪神電気鉄道「らくやんカード西宮えびす」
 - ⑦ 神戸鳳月堂「えびす巻」
 - ⑧ 西宮郵便局「えびす絵入りはがき」
- ☆各社とも十日えびす期間中、神社周辺特設売店にて販売予定。(写真は平成9年のもの)

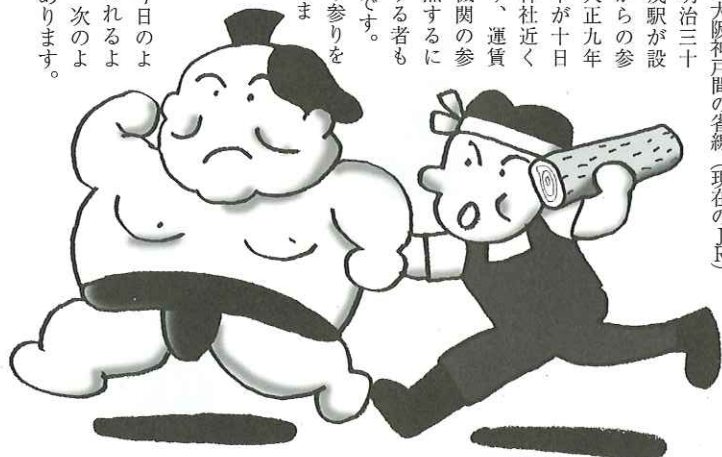


開門神事福男選び

鎌倉時代の文獻にも見られる「忌籠」の風習により、一月九日の深夜十二時、境内の全ての門が閉じられます。十日午前四時の「十日えびす大祭」を終え、忌籠の明けける午前六時、大太鼓の音を合図に表大門（赤門）が開かれると、待ち構えた約千人の参拝者が二百メートル先の本殿を目指し、猛ダッシュ。本殿に早く到着した順に一番から三番までがその年の福男として選ばれ、賞品が授けられます。今では、閉門と同時に待機する徹夜組も見られますが、もとは各家の門松を逆さまにして、門戸を厳重に閉じて静かに夜の明けけるのを待ち、早朝参拝をしていたようです。門前の木町筋は、戦前までは旅館が軒を連ねる宿場町の面影を残しており、遠方からの参拝者の多くが早朝の参拝に備え、宿泊していました。境内では、東京相撲の三日場所が開催され、且那衆などは、縁起を担いで相撲取りに祝儀を出して競わたりしていたといわれています。

明治七年に開通した大阪神戸間の省線（現在のJR）西ノ宮駅に続き、明治三十八年に阪神電車の戎駅が設けられると、遠方からの参拝者も増え始め、大正九年に開通した阪急電車が十日えびすの三日間、神社近くに臨時駅を設けたり、運賃の割引など、交通機関の参拝者誘致合戦が過熱するに従い、門前に待機する者も多くなってきたようです。

開門と同時に走り参りをするさまは、今とあまり変わりなかったようで、もっぱら一番乗りすることに焦点が当てられていたようです。今日のように福男として選ばれるようになったのは、次のようなエピソードがあります。



昭和十三年に、過去十六回一番乗りをしていたという西宮市内の材木店に勤める田中太一さんが、水上郡春日六村の尾松新之助さんと同居になってしまった為、体力の限界を悟り、翌十四年には同じ職場の健脚の持ち主、多司馬兄弟に後を託したところ、見事に弟の玖一君が一番、兄の團之助君が二番に、田中さんが三番になりました。これに世間が感動して福男として称えた為、翌十五年から上位三人を福男として認定するようになったというものです。その年は、兄の團之助君が中支戦線に出征していた為、兄からの激励の軍信を内懐に秘めた玖一君が、田中さんの介添のもと、見事二年連続一番福男を射止めた瞬間、思わず「兄さんやりましたよ」と感激の叫びをあげたと当時の大阪朝日新聞は報じています。

二十年まで続いた福男選びは、終戦直前の空襲により社殿が全焼した為、翌年から中止、二十四年に南門が新設されたのを機に復活されましたが、開門時の参拝者約十名と、今日に比べると雲泥の寂しいものでした。

その後、年を追うごとに参拝者も増え、数々のドラマやラブソングも生まれてきました。三十二年からの四年連続一番福に続き、さらに二年連続二番福を獲得の村上精一さん。四十一年には、各地の祭礼で事故が多発した為、警察の指導により二年間中止されたものの、参拝者は走り続け、四三年から東島義哲さんは、三年連続一番福になったのに続き、四十七年にも一番福を獲得、その時の二番・三番福には、伊藤徹・彰啓さん親子の福男。五十三年には、谷村柘士・和己・正典さんの三兄弟による福男の独占。五十年代には、城崎郡の漁業関係者の福男も多くいました。六十年には、門外からの熱気に押されて五分前にフライング開門。六十三年から一番福四連覇目前の本山勝一さんは、ゴール手前で惜しくも転倒、涙を飲みました。平成六年から続いている森本晋由さんと善斉健二さんのライバル同士の対決等々、時代を超えた熱気が伝わってくるようです。



昭和十年代の十日えびすの賑わい

福男の誕生秘話

二ユーを眺まないアナウンサーとして、関西のタレント・アナの草分け的存在。昔に比べると全国的に関西弁が少なくなっている、しゃべりやすくなりましたね。

神社のすぐ近くの夙川にお住まいで、平素から「お参りされることも」「十日えびすの熱気は、格別ですね。一年間のエネルギーが三日間に凝縮されていて、一日午前六時に爆発するという感じです」

今回、フジ・関西テレビ系列の朝の情報番組「めざましテレビ」の人氣コーナー「征平の朝からないうてまんねん」の中で「自身も参加、全国へ実況リポートされました。『足の速さを競う神事なので、足自慢の若者ばかりかと思っていたら、約千人の参加者の中には、おばさんやおばあちゃんも結構いてびっくり。三番までにならなくても、参加者には、神社から福袋が授けられるので、必死の形相で走ったあとは、皆さんえびす願。年甲斐もなくランニングスタイルで挑戦、元水球部の体力で二十番目ぐらいでしたかね。この福を活かして世の中を少しでも明るく、にぎやかにしていければと思っています」



関西テレビアナウンサー 桑原 征平さん

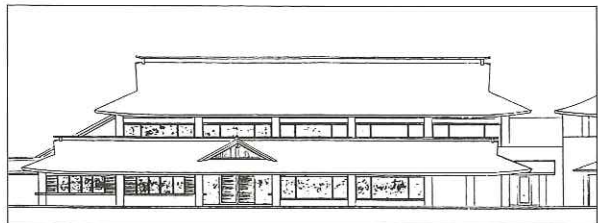
震災復興の経る

忘れもしないあの忌まわしい震災から、はや三年を迎え、日々復旧作業も進捗し、街並みも次第に落ち着きをとりもどし、明るさをもどってまいりました。氏子の日も早い復興をお祈り致します。

神社も思いのほか甚大な被害を受けましたが、皆様方のご厚情とご支援を賜り、平成七年には本殿拝殿の復旧を、八年には諸末社並びに重文大練塀の復旧工事が完了し、九年には神池及び境界構築物等の復旧工事を終え、本年はいよいよ最後に残された社務所の再建工事を着手を致します。

震災復旧工事にあたっては、大変厳しい状況の中、一刻も早く大神様のご神慮をお慰め申し上げたく、職員一同努力致しております。

この上でも、皆様方から寄せられた温かいご支援とご協力を心からお待ちしております。次第で、ご返します。



●新社務所南側立面図（平成10年12月竣工予定）

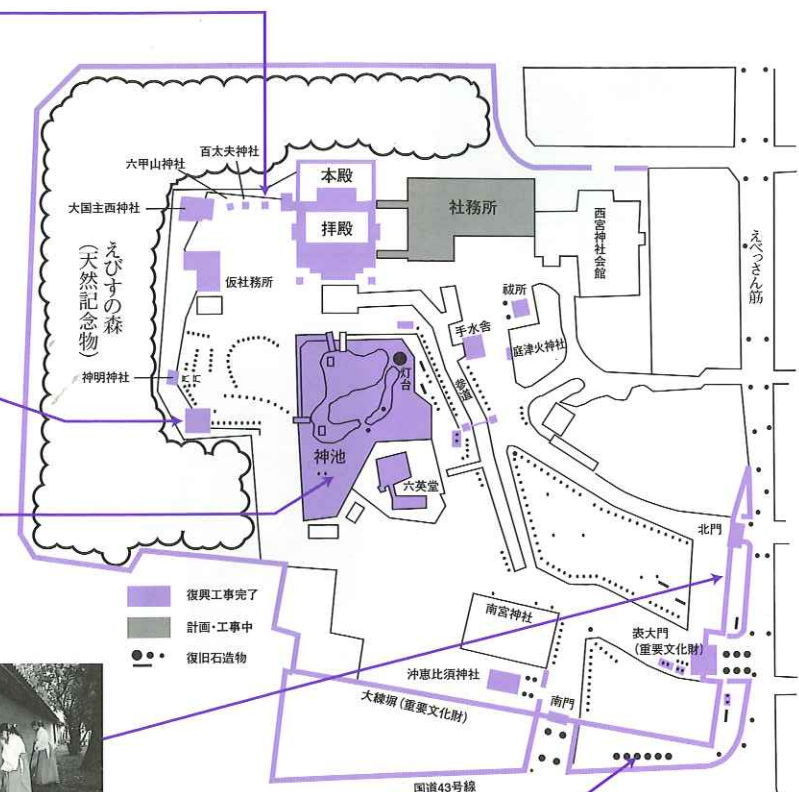
●末社火産神社
本殿西側の広田神社遷葬所跡地へ移築、遷座されました。

●末社松尾神社
石垣を積み直し、社殿を解体修理、遷座、玉垣は木製のものとなりました。

●神池
石垣や石橋を組直し、大型クレーンで崩れた灯台を吊り上げて復旧しました。

●大練塀（重要文化財）
昔ながらの版築工法で練土を突き固め、震災修理の記録を後世に残す為、平成7年の賞状が埋め込まれました。

●石灯笼
拝殿前の石灯笼は、国道43号線に面した東神苑へ移築されました。



- 平成七年
- 一月十七日 阪神淡路大震災発生
 - 二月六日 本殿・拝殿補強工事及び復旧工事調査開始
 - 三月二日 南門復旧工事完了
 - 三月二日 本殿・拝殿改修工事着手
 - 三月二日 阪本殿改修工事完了
 - 四月一日 本殿復旧工事完了
 - 七月八日 南門復旧工事完了
 - 三月二日 本殿・拝殿補強工事及び復旧工事調査終了
 - 三月二日 復興工設計画完成
 - 三月二日 阪本殿改修工事着手
 - 三月二日 本殿・拝殿復旧工事着手
 - 三月二日 阪本殿改修工事完了
 - 四月一日 本殿復旧工事完了
 - 七月八日 南門復旧工事完了
 - 三月二日 本殿・拝殿補強工事及び復旧工事調査終了
 - 三月二日 復興工設計画完成
 - 三月二日 阪本殿改修工事着手
 - 三月二日 本殿・拝殿復旧工事着手
 - 三月二日 阪本殿改修工事完了
 - 四月一日 本殿復旧工事完了
 - 七月八日 南門復旧工事完了
- 平成八年
- 一月十七日 震災復興祈願祭行
 - 三月八日 大練塀現代展覧会式
 - 二月八日 大練塀復旧工事完了
 - 二月九日 末社宇賀神社・火産靈神社遷座祭行
 - 二月八日 末社六甲山神社遷座祭行
 - 三月二日 末社大國主神社・百太夫神社・神明神社遷葬所跡地・銅鐘復旧工事完了
 - 四月三日 大鳥居竣工式
 - 五月二日 燈籠移築工事完了
 - 六月二日 末社松尾神社遷座復旧工事完了
 - 八月二日 神池・神苑玉垣・六英堂復旧工事完了
 - 十月二日 石造物復旧工事完了
 - 十一月二日 境内境界復旧工事完了
- 平成九年
- 一月 社務所再建工事着手